

CET 12.0・リリースノート

2021年5月17日

ニュースと変更

CET プロダクトエディションの紹介

- CET ユーザーコミュニティにより良いサービスを提供するために、CET デザイナーは3つの業種のプロダクトエディションに進化します。

ユーザーにはどのように影響しますか？

各ユーザーのライセンスサブスクリプションによって CET が自動的に最適な CET プロダクトエディションに変更するので、マニュアルで設定をする必要はありません。

各 CET プロダクトエディションは、その業種に適するツール、エクステンションとフィーチャーが含まれるようにしてあります。

CET を起動する際、以下のいずれかのプロダクトエディションアイコンとスプラッシュ画面が表示します：





更にソフトウェア名にも変更があり、CET Designer は CET になるようになりました。

詳しい情報 [こちら](#) のヘルプ記事(英)にご参考にしてください。

壁の図面とツールエクステンション

- アーチ形の壁に窓と窓アクセサリが付けるようになりました。



- 壁/ドア/窓のマテリアルは、壁設定ダイアログ内の各タブに分割されています。
- CET でのオブジェクトまたはオブジェクトのグループをミラー反転するためのツールが追加されました。ミラーツールは、Configura がリリースしたたエクステンション機能のすべてのオブジェクトで機能します。現在、ミラーツールは壁の図面タブにあります



- 寸法ツールの基本的な動作を変更しています。寸法ツールは、配置中に他のオブジェクトに自動的にスナップし、移動した場合はそれらのオブジェクトに従って移動、またはストレッチします。
- これは**関連性寸法**と呼ばれ、寸法の配置中にクイックプロパティのチェックボックスでオフにすることができます。



- CET キッチンと浴室の場合、関連性オプションはデフォルトでオフになっていることに注意してください

構造および建築機械エクステンションの更新

- ビーム挿入を 2D のみではなく、配置中に 2D と 3D の両方で表示されるように改善しました。
- HVAC ダクトの最大半径が 2.67 メートル（105 インチ）に増加しました。また、導入されている最小値と最大 IMUM の限界値をカスタムビームに追加しました。
- トラスオプションを 3 つの異なる基本形状にし、右に示すように、ストレート、アングル、トライアングルとなっています。

フォトラボとムービースタジオの変更

- コントロールパネルでのグラフィックオプションでは、ハードウェアおよびハードウェアセーフモードをハイブリッドモードに変更しました。以下の新しいフォトラボ機能の一部には、ハイブリッドモードが必要です。
- CET と Configura エクステンションでの照明ツールはより写実的のある光源に更新しました。これによって、明るさがルーメン (lm) で測定されるようになり、より簡単に設定でき、背景の材料が正しく反射するようになります。
- フォトラボでに上級設定にあるライティングと影セッションには、**画像ベースのライトオプション**が追加されまして、HDR 背景の色に応じて適用の光源が表示できます。



背景画像の青みの色調のため、より冷たいトーンでレンダリングします。



背景画像の黄色の色調により、より暖かいトーンでレンダリングします。

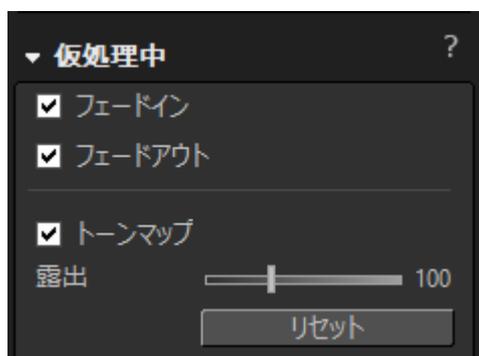
- フォトラボでは新しいトーンマップオプションをオートレベルに切り替えます。これは、後処理設定の上級設定にあります。



トーンマップは、写真のベストプラクティスに基づいて自動後処理を実行し、露出オーバーと露出アンダーに対処し、最適なコントラストと色の強度を実現します。

元のツールとは異なり、トーンマップはスライダーを調整しないで、チェックをすることによって有効になります。トーンマップに有効にした後、スライダーでマニュアルで調整できます。

トーンマップオプションは、ムービースタジオエクステンションにもあり、個々のビデオフレーム間の一貫滞在しようとする時に利用できます。



スキームの新しいツールとオプション

- DWG ファイルを埋め込むことができる方法と同様に、スキームも図面に埋め込むことができます。

これにより、その図面に固有のスキームを将来使用して再利用したり、同じプロジェクトで作業している他の人と簡単に共有したりできるようになります。

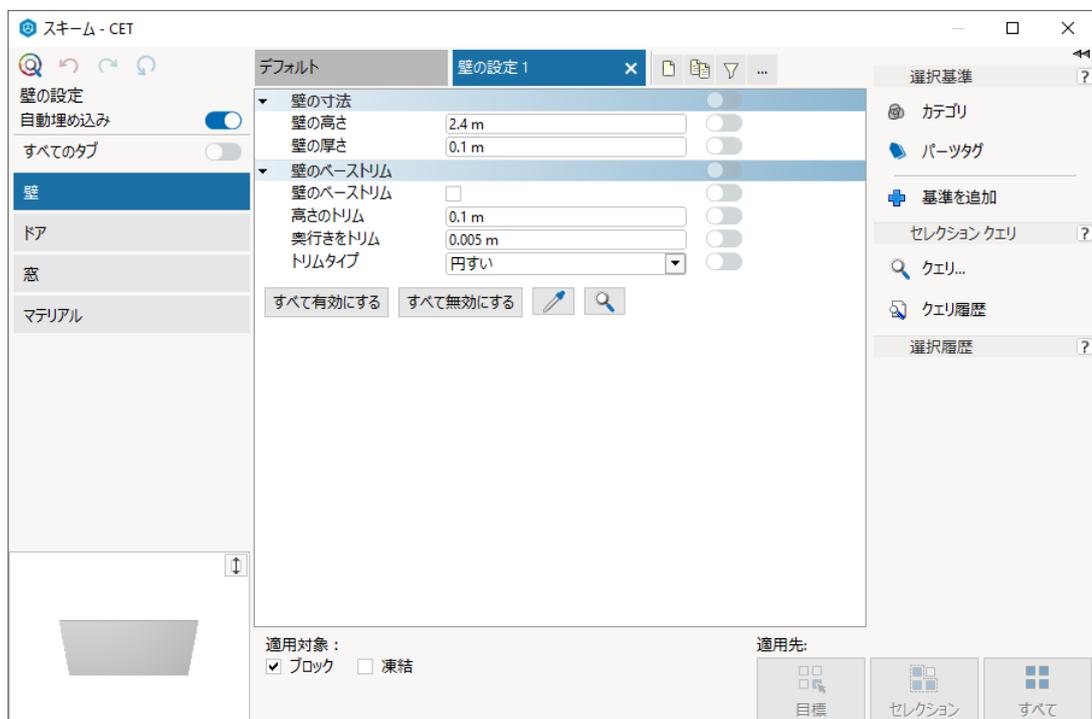
スキームの埋め込み方法は、マニユア設定、またはすべてのスキームを埋め込むという2つのオプションで設定できます。



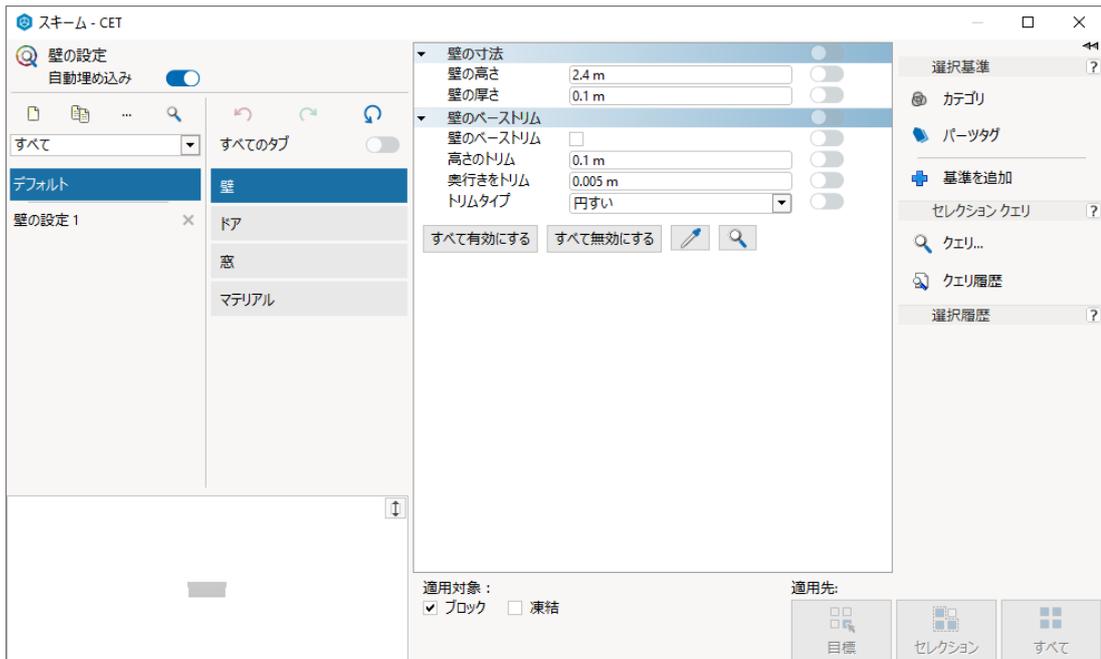
- スキームを CET ドキュメントに保存するのではなく、指定した場所に保存するセッションが追加されました。
- 自動保存スキームにオプションを追加して、CET が未保存の変更について繰り返通知しないようにしました。

注：自動保存されたファイルはローカル PC に保存されますが、自動埋め込まれたファイルは図面ファイルに保存されます。

- 新しいスキームのダイアログでは、横方向または縦方向のレイアウトスタイルから選ぶことができます。縦方向のレイアウトスタイルを使うことによって多数のスキームがある時より簡単に見えられます。これらの設定は、「…」ボタンからアクセスできる「設定」ダイアログにあります。

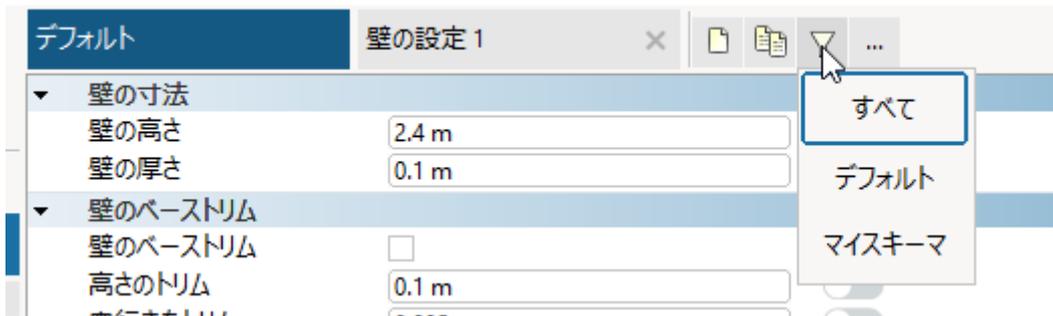


水平レイアウト (デフォルト)

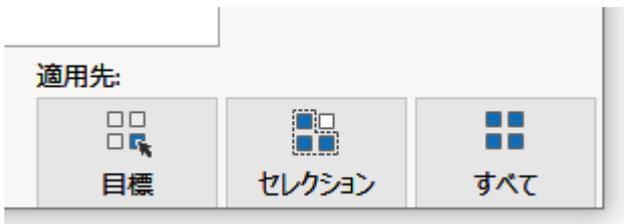


垂直レイアウト (オプションとして変更できます)

- 多くの異なるスキームの中からおあるスキームだけを表示したい時にフィルターツールが利用できます。

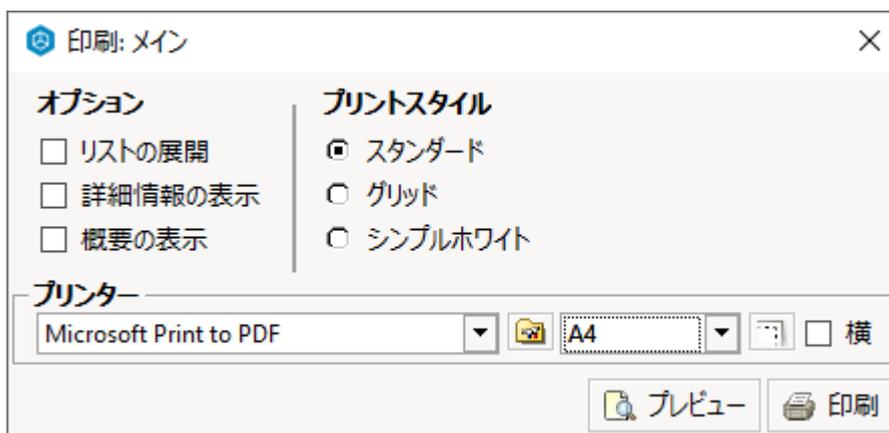


- 「スキーム」ダイアログのレイアウトを改善に伴って、適用ボタンも改善しました。



その他

- CETの外観を最新化する一環として、「拡張機能詳細」ダイアログのオーバーホールから始めます。その同時に、すべての基本的なチェックボックスの外観を更新するようになりました。
- 計算ビューのファイルメニューから印刷オプションが追加され、レポートの印刷ツールと繋がっています。



- エリアパーツタグ設定によってパーツタグに含めたエリアのサイズが表示できます。
- この設定はパーツタグのプロパティボックスにある「エリアの表示」にあります。



- 図面を GLTransmission Format (gltf / glb) にエクスポートするためのサポートが追加されました。
- 新しいビューの右下に「メインのビューモードに従う」新しいオプションが追加され、メイン 2D / 3D ビューのビューモードに従うようになりました。
- 計算ダイアログに「ConfiguraSIF」という新しい注文エクスポート形式を追加しました。これは、元の Project MatrixSIF エクスポートを置き換えます。

ConfiguraSIF は、計算に示されているのと同じソート順を使用し、TAG1-TAG5 を複数の SIF キーにマッピングして、注文入力アプリケーションでより簡単に適切に使用できるようにします。

- Collaboration Lite エクステンションのユーザー向けに、高度な選択ツールが更新され、コラボレーションの特定の基準が含まれるようになりました。

バグ解決と改善点

改善点

- VPN 接続を介してリモートネットワークとの間で図面を保存またはロードするときのパフォーマンスが向上しました。リモートネットワークへの保存は、現在のネットワーク接続の安定性と速度に影響されることに注意してください。
- 現在アクセスできないネットワークの場所に保存しようとしたときの情報とフィードバックが改善されました。
- 複数プランが存在する場合のタグ凡例の情報の明確さの向上。
- 大きなスプレッドシートをインポートしようとしたときのエラーメッセージとフィードバックが改善されました。
- 2D と 3D の両方でインポートされた DWG ファイルのパフォーマンスが向上しました。
- 改善された IFC のインポートスピード、輸入 IFC ファイルを含む図面用のセーブ/ロード時間が向上しました。
- テキストが 2D およびペーパービューで描画される速度が向上しました。
- Ctrl キーを押しながらクリックして、ペーパービューで複数のオブジェクトを選択する際のパフォーマンスが向上しました。

クラッシュの修正

- CET に必要な実行ファイルの一部が欠落しているため、起動時にクラッシュを引き起こす可能性があった問題を修正しました。
- 古い図面を読み込んだ後、[カウント]オプションが表示され、クイックプロパティで選択できるためにクラッシュが発生する可能性があった、タグの凡例の問題を修正しました。

バグの修正

- タグレグンドで説明を変更するとカテゴリも変更してしまうという問題を修正しました。
- 四角をタグとカスタムシェープタグが表示されなくても選択してしまう問題を修正しました。
- ペーパービューでのドロップダウンで各複数プランのタグレジェンドがせんたくできるようになりました。
- ペーパービューでブロックに含めた DWG ファイルに「白黒のみを表示」のアドオンを適用すると図面が黒くなる問題を修正しました。
- ペーパービューで引出線がある場合レポート印刷に表示されない問題を修正しました。
- ビュークリップの立面を上げると、ビュークリップの内容表示されない問題を修正しました。
- ビュークリップで「パーツタグの色の表示」のアドオンを付けるとパーツタグが付けていないオブジェクトが表示されない問題を修正しました。
- 印刷プレビューでテキストが正しいスケールで表示されない問題を修正しました。
- レポートの印刷でのドキュメント設定でのチェックボックスが更新されない問題を修正しました。
- キーボードショートカットからのリムーバーツールを使用するとカーサーのポインターが大きくなった問題を修正しました。
- 3D ビューと複数ビューがある場合 3D オブジェクトが選択できない問題を修正しました。
- ビューセットでパーツタグのビューモードの複製を作り出す問題を修正しました。
- フィルターダイアログでコラボレーションが表示されない問題を修正しました。
- 他のビューでオブジェクトを選択するとプロパティボックスの位置がリセットされてしまった問題を修正しました。
- セクションのポップアップを開く時に大きさが伸ばした問題を修正しました。
- ソースフォルダーが書き込み保護されている場合に失敗する STP インポートの問題を修正しました。
- ファイル名にコンマが含まれていると失敗する可能性がある DWG エクスポートの問題を修正しました。
- エクスポート後に埋め込み DWG ファイルが 3D で表示されない可能性がある DWG エクスポートの問題を修正しました。

- インポートされた DWG ファイルの位置が変わる可能性がある DWG インポートの問題を修正しました。
- 最高の LOD 状態で、オフィスアクセサリーエクステンションのモニターから壁紙が失われる可能性がある SketchUp エクスポートの問題を修正しました。
- 一部のアクセサリでスケール設定が失われる可能性がある SketchUp エクスポートの問題を修正しました。
- 同じ名前で透明度の設定が異なるマテリアルがロード中に混同され、誤って表示される可能性がある SketchUp エクスポートの問題を修正しました。
- インポートしたスプレッドシートのデータの更新ツールで、表示するシートを選択するためのダイアログが誤って開かれる問題を修正しました。
- インポートされた画像の明るさ設定で、変更が 3D で表示されない問題を修正しました
- ドイツ語の設定を使用しているときに、一部のフォトラボヘルプダイアログが一部の文字を <□> に誤って置き換える問題を修正しました。
- 通貨設定ダイアログのサイズを変更すると、[デフォルトとして保存] ボタンが消える可能性がある計算の問題を修正しました。
- 明示的に選択解除されていても、選択解除された行が含まれる可能性がある、選択されたパーツを含む計算および新規ビューの問題を修正しました。
- 自動フォントサイズ調整が正しく機能しない可能性があるデータフィールドの問題を修正しました。
- フォントサイズの調整が有効になっている場合に、日本語の文字がテキストオブジェクト内に正しく収まらない可能性があるテキストフィールドの問題を修正しました。
- バスルームアクセサリーに適切なデフォルトのカテゴリ（アクセサリー）が与えられない問題を修正しました。
- 同じブロック内の異なるフォントサイズから、ブロック内に適切に収まらないテキストまで、さまざまな問題を引き起こす可能性のある再構成ツールと PDF 作成の問題を修正しました。
- コントロールパネルから言語データベースの再構築ツールを使用すると、[カタログブラウザ] タブが表示されなくなる可能性がある問題を修正しました。
- 別のレベルが選択された場合に、クイックプロパティドロップダウンからレベルが消える可能性があるレベルの問題を修正しました。
- ブロックがブロックダイアログに「デッド」としてリストされる原因となる可能性のある、ブロック内のブロックの繰り返し作成に関する問題を修正しました。

- グラフィックの編集拡張機能を使用せずに図面を読み込んだ場合に、オブジェクトの2Dでの塗りつぶしが失われる可能性があるグラフィックの編集の問題を修正しました。
- 部分的に壊れていて理解と使用が難しいため、2D ラインセクションからダブルアンドミートツールを削除しました。
- 距離フィールドの「測定値を表示」ボタンのコントロールパネルに不足しているヘルプテキストを追加しました。
- 立面図ビューでベースライン寸法がベースラインを正しく指していなかった問題を修正しました。